



# 町民のひろば

## さわちゃん劇場

(沢口浩 作・画) 94

### 我家にもパンダが...?の巻



ゆか  
中六角優花ちゃん

(3歳7カ月・中村)  
保広さん、博子さん次女



りつ  
外山 律くん

(3歳6カ月・境の沢)  
幸喜さん・唱子さん長男

わが家の  
— 346 —  
アイドル

キミばあちゃんと一緒に料理することが大好きな優花。もっと好きなのはお父さんがしぼった牛乳で、のどがかわくたびにごっくんしています。中2の姉・彩花と小5の兄・和輝にかわいがられて育った優花は「我が家の笑顔の元」。その名前のとおり優しい子に育ってね。 博子

「電車で速いし、かっこいいよ〜」と、いつの間にか電車が大好きになった律。D51やこまち、つばさと次々に覚えてしまいました。たくさんある電車のDVDも、画面に張り付けて見えています。顔だけでなく夢中になるところもパパそっくりです。もうすぐ2人のお兄ちゃん、よろしくね。 唱子

## ハイ・元気です

203

「私が書いたの、読んでことありますか」と昭和60年発行の「文芸葛巻・第6号」をうれしそうに差し出す晴子さん。主宰する西島憲也さんに誘われて寄稿し、以後廃刊まで8年間続けました。PTAの活動で始めた俳句は今でも続けます。毎週投稿しています。 鉄工所を営んでいた夫・廣治さんが亡くなって26年。「当時は、昼夜を問わずお客さんが来て、夜も遅くなるのが多かったね」としみじみ振り返る晴子さんは、今、ひそかにカラオケを楽しむ茨城県生まれの素敵なおばあちゃんです。



藤森 晴子さん  
(87歳・田の沢)

皆さんが参加するコーナーです。  
耳よりな情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。  
総務企画課広報統計係 内線 257

## 青春を振り返ってみませんか？

町青協・創立60周年記念誌を発刊

町青年連合協議会（服部健会長）は、創立60周年の節目に記念誌を発刊しました。「青年会に入った人は、この記念誌を見てぜひ自分の青春を振り返ってください」と編集を担当した近藤豊美彦さん（63歳・田子）。「戦後60年の青年活動史であり、青年会でなければできなかった内容ばかり。町民運動会や演芸会も元はといえば青年会が主催だったんですよ」と当時を振り返ります。



編集した近藤豊美彦さん

この記念誌は3部構成で、故遠藤秀雄さんが編集した「草創期から30年の歩み」、今回編集の「成熟期から30年の歩み」、そして会員名簿などの「資料編」となっています。「編集に当たって広報を見直しましたが、当時は青年会活動の記事がたくさん載っていました。それくらい活発だったということでしょう」と話します。現在は会員の減少などにより活動も難しくなっていますが、昨年度OB会が再結成され現役をバックアップ。その第一弾がこの記念誌の発刊となりました。

この記念誌は、町の公民館図書室や各学校に寄贈されたほか、1部3,000円で販売しています。圃町青協事務局・日向 役場内線144まで

## 日曜JAZZ喫茶をラジオで紹介

IBCラジオ・「ハッピーシニアエイジ」

日曜JAZZ喫茶（藤岡徹代表）の取り組みが、今度はIBCラジオ放送「ハッピーシニアエイジ」で紹介されます。

2月6日、アナウンサーの西條ユキコさんらが収録に訪れ、日曜JAZZ喫茶に集まっていた町民らがインタビューを受けました。放送は2月26日（土）と3月12日（土）の2回、いずれも午後3時20分から30分までです。お聞き逃しなく！



インタビューを受ける町民の皆さん



竹花 光紀さん (21歳・新町)

## 若い人いっぱい集まって！

「消防の2分団と商工会青年部に入りました！」と、さわやかな笑顔で話す竹花光紀さんは、実家の竹花モーターズで働く自動車整備士です。

葛巻高校を卒業後、神奈川の専門学校で自動車の整備を学び、昨年4月葛巻に戻って来ました。板金と塗装を担当し、上司の叔父さんの元で修行中です。「病院だと外科みたいかな」と、きれいに仕上がった車を見つめます。

休日は、先輩や地域の仲間とカラオケなどを楽しむという光紀さんは、「盛り上げるのが好き」とみんなを楽しませ「若い人にいっぱい集まって欲しい」と思っています。

高校2年生の時から飼っている愛犬「キャメロン」と工場に出勤、お昼休みにも散歩をしたりして一緒に過ごします。小・中学校は野球、高校ではバスケットをしていた光紀さんは、現在も町のバスケット協会で活躍するスポーツマンです。

「千代ばあちゃんのような女性が理想かな」とにっこり。「でもまだ彼女は募集はしていません」と、一人前の整備士になるという目標に向かって頑張る毎日です。

## 今日のショット



五日市小2年生  
福寿草慰問



茶屋場えんぶり